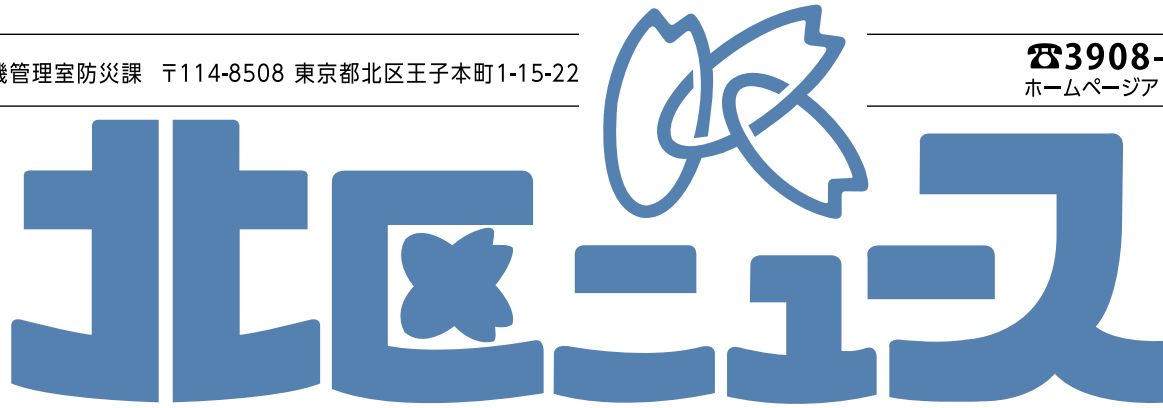


特 集 号
5 | 20
平成30年(2018)



東京都北区地域防災計画 (震災対策編・風水害対策編)改定

東京都北区地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、東京都北区防災会議が策定する計画であり、北区のあらゆる自然災害に対処する総合計画です。この計画では、震災及び風水害に係る予防対策、応急対策、復旧対策を北区災害対策本部だけでなく、防災機関、その他諸機関が有する全機能を有効・適切に発揮し、また事業者、自主防災組織及び区民の皆さまが総力を結集して、「自助」「共助」「公助」を実施することで、区民の皆さまの生命、身体及び財産を災害から保護することを目的としています。

今回、東日本大震災(平成23年)、関東・東北豪雨(平成27年)、熊本地震(平成28年)などの大きな災害によって明らかになった災害対策上の課題や教訓、国及び東京都の法令・制度や動向等を踏まえ、平成30年3月に本計画を改定しました。改定のポイントについては2面をご覧ください。

～首都直下地震等の大規模災害がいつ起こるか分かりません～

災害履歴

過去5年間に北区で発生した地震(震度4以上)・風水害及び北区外で発生した主な自然災害は以下の通りです。

平成26年	2月8日(大雪) 2月14～15日(大雪) 5月5日 地震(震度4) 6月29日 集中豪雨(大雨・洪水警報) 7月30日～8月26日 平成26年8月豪雨
平成27年	5月25日 地震(震度4) 5月30日 地震(震度4) 9月9日 台風18号(大雨・洪水警報) 9月9日～11日 平成27年9月関東・東北豪雨 9月12日 地震(震度4)
平成28年	4月14日 平成28年熊本地震 8月22日 台風9号(大雨・洪水・暴風警報、土砂災害警戒情報、土砂災害警戒区域に対し避難勧告を発令)
平成29年	7月5日～6日 平成29年7月九州北部豪雨 7月18日 集中豪雨(雹、強風) 10月22日～24日 台風21号(大雨・洪水・暴風警報、荒川氾濫注意情報、土砂災害警戒区域に対し避難準備・高齢者等避難開始を発令)
平成30年	1月22～23日(大雪)

パブリックコメントの実施結果

東京都北区地域防災計画(震災対策編・風水害対策編)を改定するにあたり、平成29年12月1日～平成30年1月5日にパブリックコメントを実施し、18件のご意見をいただきました。詳しくは北区公式ホームページをご覧ください。

HP http://www.city.kita.tokyo.jp/bosai/bosai/chikibo_pubcom.html

東京都北区地域防災計画（震災対策編・風水害対策編）改定のポイント

I 受援体制の事前準備

- 大規模災害が発生すれば、膨大な災害対策業務が生じることとなり、被災自治体のみで災害対応に当たることは現実的ではありません。円滑に他自治体等からの応援を受け入れるため、受援に関する基本的な方針を定めました。
- 受援に関する業務を専門で行う「受援班」を災害対策本部に新設しました。

II 避難行動要支援者に対する支援の充実

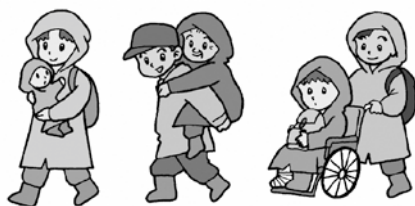
- 平成 29 年度、区は、災害が発生した時に自分の力で避難することが困難で、特に支援が必要な方を「避難行動要支援者」と定義して、これまで活用してきた「災害時要援護者名簿」から「避難行動要支援者名簿」へ切り替えを行いました。
- 名簿の切り替えに伴い、避難行動要支援者名簿に関する基本事項を定めるとともに、今後の支援の方針を定めました。

III 被災者生活支援体制の強化

- 被災者の生活再建には、受けた被害を証明する罹災証明書が不可欠です。罹災証明書の発行やその後の支援を一括管理し、一連の業務を迅速かつ効率的に進めるため、熊本地震でも活用された「被災者生活再建支援システム」を導入しました。
- 被災者生活再建支援システムの活用を前提とした、関係機関との連携、訓練実施の方針等を定めました。

IV 水防体制・情報提供の整理

- 荒川下流タイムライン【拡大試行版】の策定・公表（荒川下流域タイムライン専門部会、平成 29 年 5 月）や、東京都北区洪水ハザードマップ【荒川が氾濫した場合】の改訂（北区、平成 29 年 5 月）を踏まえ、水防体制・情報提供等を整理しました。



コラム タイムラインとは？

タイムラインとは、災害が発生することを前提として、関係者が災害時に行う防災行動を時系列に沿ってとりまとめたもので、「いつ」、「何を」、「誰が」が明確になることから、防災力の向上に役立ちます。

平成 24 年、ハリケーン・サンディが米国に上陸した際、ニュージャージー州のバリアアイランドでは、タイムラインの実践による早めの防災行動が功を奏し、死者数を 0 人に抑えることができました。

熊本地震における北区の支援状況

平成 28 年熊本地震において、北区は、東京都や特別区と連携し、熊本県への支援を行いました。北区が被災した場合に備え、全国の自治体・民間企業・NPO・ボランティア等から円滑に支援を受けるため、体制を整える必要があります。

< 救援物資の輸送 >

搬送先	救援物資	数量	職員
熊本県 熊本市	飲料水 (500ml ペットボトル)	12,000 本	3 名
	クラッカー	4,900 食	
	おかゆ	1,000 食	
	アルファ米	1,500 食	
	トイレットペーパー	600 個	



< 職員派遣 >

	派遣先	従事事務	職種	人数
1	熊本県熊本市	被災建築物応急危険度判定	建築	2 名
2	熊本県熊本市	罹災証明発行業務	事務等	3 名
3	熊本県阿蘇郡 南阿蘇村	生活保護の相談、申請受理など	事務	1 名

V 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成等

- 平成 29 年 6 月の水防法及び土砂災害防止法の一部改正により、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設（老人福祉施設、児童福祉施設、小学校など）において、避難確保計画の策定や訓練の実施等が義務化されたことを踏まえ、荒川浸水想定区域内に位置する該当施設の名称及び所在地を記載しました。
※ 平成 30 年 3 月現在、土砂災害警戒区域内に該当施設なし。
- 区は、該当施設に対し、避難確保計画策定の支援を行います。
※ 土砂災害防止法：土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

計画の閲覧

東京都北区地域防災計画（震災対策編・風水害対策編）は以下の場所で閲覧できるほか、北区公式ホームページからもご確認いただけます。

[閲覧場所]

防災課（区役所第 1 庁舎 2 階 13・14 番）、防災センター（西ヶ原 2-1-6）、区政資料室（区役所第 1 庁舎 1 階）、図書館

HP <http://www.city.kita.tokyo.jp/bosai/bosai/keikaku.html>

区民の皆さんでできる備え

首都直下地震等の大規模災害が発生すると、電気・ガス・水道・下水道などが使えなくなり、日常生活に大きな支障が生ずるほか、幹線道路や生活道路が倒壊した建物のがれきで塞がれ、飲料水、食糧、日用品等の物流が機能しなくなる恐れがあります。

そのような想定の中では、「自分の身は自分で守る」という「自助」、そして「自分たちの地域は自分たちで守る」「隣近所で助けあう」という「共助」の考えが大切です。ここでは、区民の皆さんでできる備えについて、ご紹介いたします。

家庭内備蓄

3日以上(できれば一週間)自宅で生活できる飲料水と食糧を蓄えましょう。日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備えることで、発災時にも自宅で当面生活することが可能になります(日常備蓄)。カセットコンロなどの調理器具もあると重宝します。

また、飲料水や食糧に比べ忘れられがちですが、簡易トイレなども用意する必要があります。その他にも粉ミルク、紙おむつ等、各ご家庭にあったものを備えておきましょう。

家具の転倒防止

東京消防庁が実施した調査によると、地震によるケガの原因の約 30%~50%が、家具類の転倒・落下・移動によるものとされています。転倒防止器具は、お近くのホームセンターなどで購入することができますので、転倒防止に努めましょう。

また、区では家具転倒防止器具を含む防災用品のあっせんを行っておりますので、詳しくは4面をご参照ください。

いっつき集合場所、避難場所、避難所の確認

いっつき集合場所、避難場所、避難所は、似たような言葉ではありますが、それぞれ異なる場所を指しています。

北区防災地図にてご確認いただけますので、事前に最寄りの避難所等を確認しておきましょう。

[配布窓口]

防災課(区役所第1庁舎2階 13・14番)、防災センター(西ヶ原 2-1-6)、区民事務所、地域振興室

ハザード情報の確認

区は、洪水や土砂災害から身を守り、速やかな避難を支援するため、洪水ハザードマップ及び土砂災害ハザードマップを作成・公開しています。ご自宅や職場等の周辺にある災害リスクを確認し、事前に避難経路等を決めておきましょう。なお、北区防災アプリ「防災タウンページアプリ」では、ハザードマップと同等の情報をアプリ上で確認できるほか、AR(拡張現実感)を使用し、河川氾濫時の浸水イメージを現地で視覚的に確認できます。詳しくは4面をご参照ください。

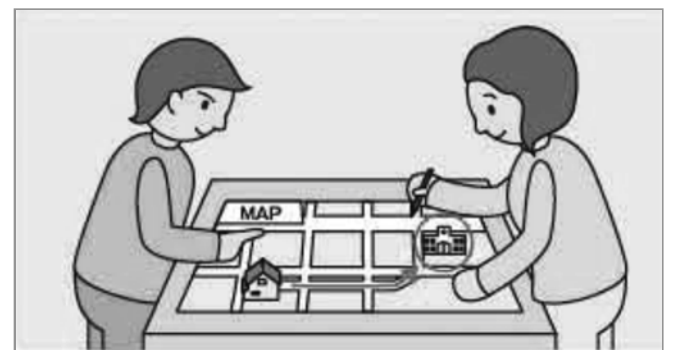
自主防災組織の活動への参加

自主防災組織とは、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という考えのもと、自主的に結成される組織です。北区では町会・自治会を母体に179の自主防災組織が結成されており、災害による被害を軽減するための活動に取り組んでいます。具体的な活動としては、防災訓練の実施、地域の危険箇所の点検・周知、防災知識の普及などがあります。お住まいの地域でも様々な取組を行っておりますので、自主防災組織の活動や訓練に積極的に参加しましょう。

< 備蓄品の一例 >

	品名
<input type="checkbox"/>	飲料水(最低1人1日3ℓ)
<input type="checkbox"/>	食品(缶詰、レトルト食品、ドライフード、栄養補助食品、調味料、スープ・みそ汁、チョコレート、のどあめ・梅干など)
<input type="checkbox"/>	燃料(カセットコンロ、固形燃料、予備のカセットガスボンベなど)
<input type="checkbox"/>	毛布、タオルケット、寝袋など
<input type="checkbox"/>	洗面用具(歯ブラシ、石けん、タオル、ドライシャンプーなど)
<input type="checkbox"/>	鍋、やかん、ポリ容器、バケツ
<input type="checkbox"/>	簡易食器(わりばし、紙皿、紙コップなど)
<input type="checkbox"/>	ラップ、アルミホイル
<input type="checkbox"/>	ウェットティッシュ、トイレトペーパー
<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ、マスク、新聞紙、裁縫セットなど
<input type="checkbox"/>	簡易トイレ
<input type="checkbox"/>	予備のめがね、予備の補聴器など
<input type="checkbox"/>	自転車
<input type="checkbox"/>	工具類(ロープ、バール・スコップなど)
<input type="checkbox"/>	ペットフード
<input type="checkbox"/>	生活用水(風呂、洗濯機などに水の汲み置き)
<input type="checkbox"/>	家の中の整理・かたづけ用品(ほうき、ちりとり、ガムテープ、ダンボール箱)

分類	定義
いっつき集合場所	大地震発生後、火災が広がり、危険が迫る可能性がある場合、近隣居住者の安否確認、まちの安全確認を行う一時的な集合場所。
避難場所	火災が迫り、自宅や事業所、地域にいたることが危険な場合に避難する場所。災害時に拡大する火災から確実に身の安全を確保できる場所として、区内14か所が指定されている。
避難所	災害後、家屋倒壊などで自宅では生活できない被災者が、一定の期間、生活する場所。同時に、情報連絡や給食・給水、医療救護等、地域の支援活動の拠点ともなる。北区立小・中学校等、全59か所を指定している。



防災情報の収集

スマートフォン専用

北区防災アプリ

NTT タウンページ(株)が提供する「防災タウンページアプリ」にて、北区オリジナルコンテンツを配信しています。災害発生時だけでなく、日常的にお使いいただけるツールとなっておりますので、ぜひご利用ください。



<主な機能>

- 避難マップ (北区MAP)

避難所等、防災拠点となる施設・場所を地図上で確認することができ、事前に地図をダウンロードすることで、オフライン時でも使用することが可能です。
- これだけリスト

ご家庭の備蓄品をカレンダーで管理し、期限間近をアラートでお知らせしてくれます。消費期限のある飲食物も上手にローリングストックができます。
※ローリングストック：定期的に消費・補充する備蓄法
- 浸水シミュレーション

北区内で想定される浸水区域を確認することができます。「カメラをかざしてシミュレーション」では AR (※) を使用し、現地でカメラをかざすことでリアルな浸水イメージを確認することができます。
※ AR：拡張現実感
- お知らせ受信

避難情報や避難所の開設状況等、北区からのお知らせをプッシュ通知で受信することができます。



避難マップ



浸水シミュレーション

北区防災気象情報メール

気象庁等が発表する各種気象情報や地震情報などを携帯電話・スマートフォン・パソコンに電子メールで配信するサービスです。災害に対する備えとして、お役立てください。

<登録方法>

右のQRコードより、登録手続きを行ってください。



<配信内容>

種類	内容
気象注意報・警報	大雨、洪水、大雪、雷の注意報、大雨、洪水、暴風、大雪の警報の発表と解除を配信
豪雨のお知らせ情報	北区内で1時間以内に豪雨(1時間に50ミリを超える雨量)が降ると予測したときに配信
土砂災害警戒情報	北区内における土砂災害警戒情報の発表と解除を配信
地震情報	23区で震度3以上もしくは、全国で震度5弱以上の地震が発生したときに配信
台風接近情報	23区西部に台風の暴風警戒域が、48時間前に入ることが予想されたときに配信
竜巻注意情報	東京都に竜巻注意情報が発表されたときに配信
荒川洪水予報	荒川に氾濫の恐れがあるとき、国土交通省と気象庁が共同で発表する荒川洪水予報を配信
雨量観測情報	北区内の雨量観測所で基準雨量値を超えるときに配信
水位観測情報(石神井川)	北区内の水位観測所(石神井川)で基準水位を超えたときに配信 ※北区のホームページでは水位観測所のライブ映像も配信しています
熱中症予防情報	暑さ指数(WBGT値)が一定の基準値を超えるときに配信
緊急なお知らせ	大雨、洪水などの気象災害や地震などの災害が発生した時または災害発生のおそれがある場合に、北区から緊急のお知らせとして、避難勧告やその他の緊急情報を配信
週末の天気予報	東京地方の週末天気を電子メールの配信確認を兼ねて、毎週金曜日のお昼頃に配信

<ダウンロード方法>



App Store

「防災タウンページアプリ」は左右の QRコードより、無料でダウンロードできます(通信費を除く)。Wi-Fi 環境での実施を推奨します。



Google Play

ご家庭・地域の防災力向上

防災用品あっせん事業

区と契約している事業者へ直接お申し込み(ハガキ・FAX・メールのいずれかの方法)いただくことで、定価の約2割引の価格で各種防災用品を購入できます(ご自宅への送料込み)。家具の転倒防止や家庭内備蓄の充実のため、ぜひ本事業をご利用ください。6月1日より、対象商品の写真と申し込み方法を記載したチラシを下記窓口で配布いたします。チラシは北区公式ホームページでもご確認いただけます。

[配布窓口] 防災課(区役所第1庁舎2階13・14番)、防災センター(西ヶ原2-1-6)、地域振興室

防災セミナー講師派遣事業

町会自治会、事業所等のグループで防災に関する勉強会(講演会またはワークショップ形式)を開催する際に、区が委託している講師を無料で派遣いたします(会場の使用に費用が発生する場合は、利用者様に負担していただきます)。

[ご利用の目安] 人数: 20~60名程度 時間: 30~120分程度

[申し込み先] 防災課防災普及係 3908-8194